

強飯式

令和7年4月2日(水) 第一座午前11時 第二座午後2時

祈禱料 3,000円 授与物 福杓子祈禱札・福米



縁喜がらまき

各座の最後に縁喜がらまきがあります。子供席も用意してありますので、ご家族皆様でお詣り下さい。

日光山と強飯式

強飯式は、全国でも日光山だけに古くから伝わる独特な儀式です。江戸期には、徳川将軍家の名代や全国の名だたる大名たちも「わが藩の名誉」として強飯式頂戴人に名を連ねました。というのも日光山といえば天皇の皇子を「輪王寺の宮」として迎えた鎮護国家の道場として天下に知られ、大名といえども、おいそれとはこの儀式に参加できなかったからです。

七難即滅・七福即生

強飯頂戴人^{ちようだいにん}として儀式に参加したり、御札を授かると、多くの御利益が得られると云われます。それは「三天合行供」と「採灯大護摩供」という当山伝統の秘法が、儀式に先立ちと行われるからです。昔から「この秘法を受けた者は、七難即滅・七福即生の現世利益疑いなし」と語り継がれ、今日に至っています。

福杓子祈禱札 と 福米

強飯式は、文字どおり^しメンを強いる儀式ですから、ご祈禱を申し込まれた方には、御札と福米をお授けいたします。御札は、シャモジ型です。たくさんの福を家庭に盛り上げる意味があり、五色の帯は、健康運・家庭運・財産運・事業運・除災運の五つを表します。福米は、食事の際ご家族みなさんで食して下さい。御札は、仏壇や神棚など、高い処に一年間お飾り下さい。

※御祈禱をお申込の方は、当日 三仏堂内の儀式に参列できます。



【お問合せ】日光山輪王寺 教化部 栃木県日光市山内2300 Tel0288-54-0531

ホームページ <https://www.rinnoji.or.jp>